

中学校 国語

ふさわしい調べ方を選んで書く

生徒質問紙に見られる本県の状況

「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」

39.8 / 52.2 (兵庫県 / 全国) (%)

「意見を書くとき、意見の根拠として取り上げる資料や具体例が適切かどうかをよく考えて使っている」

39.4 / 50.0

よく考えているのは4割だけ

課題が見られた問題 < B活用 1 三 > (書くこと 読むこと : 記述式)

【問題】 (中国 B-3)

「いろはかるた」について5段階からなる文章を読み
ア 「かるた」についてわかったことを一つ書く
イ アについて、さらに調べたいことを一つ書く
ウ イを調べる手段を一つ選び、その手段を用いてどのようにして情報を集めるのかを20字以上50字以内で書く。

【解答の状況】(兵庫県 / 全国)

ウの正答率 55.4 / 57.9 無解答率 2.8 / 2.8

正答例 (ウにおいて調べる手段を「インターネット」と選択した場合)

「郷土かるた 全国」と言葉を入れて検索する。

「かるたを製造している会社や販売しているお店のホームページを探してみる。」

< 誤答例 >

「インターネットを使って、疑問が解決するまで調べる。」
情報の集め方が書けていない。

「私は、インターネットで調べてみたいです。インターネットなら様々な情報が出てくると思ったからです。」
調べたいことを解決するための内容が書けていない。

【要因分析】

「ウ」の問いについて
調べる手段を「学校図書館」「インターネット」などと選択することはできる。
しかし、「どのようにして」が方法を問うていることが分からなかったり、情報の収集方法をどう答えれば(どう表現すれば)よいのか困惑したりしたのではないかな。

【課題】

・課題を決め、それに合った情報の収集方法を考えること。

授業改善の取組

具体的に書く

「書くための材料を集め、材料をもとに書く内容を明確にすること」を指導することが大切である。

自分の考えを書く

自分の考えを表現させる際に、賛否だけでなく根拠として、自分の体験や客観的な事柄を挙げるなどして、分かりやすく表現する活動を取り入れることが大切である。

自分の考えをもつ時間の設定

マッピング法*や図式などで、発想を広げたり考えを深めたりした後に文章化する。

助言し合う学習活動

作成した思考メモや作文などをペアやグループで読み合い、条件や形式が目的に合っているかを推敲し、評価し合う。

例えば...

* テーマに関する知識等を地図の形で現わす。「コンセプトマッピング」(概念地図法)。

